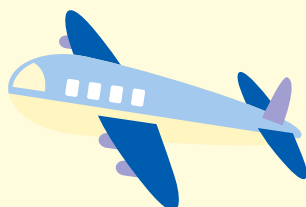
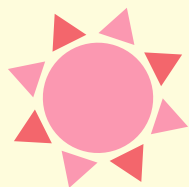




茨城県

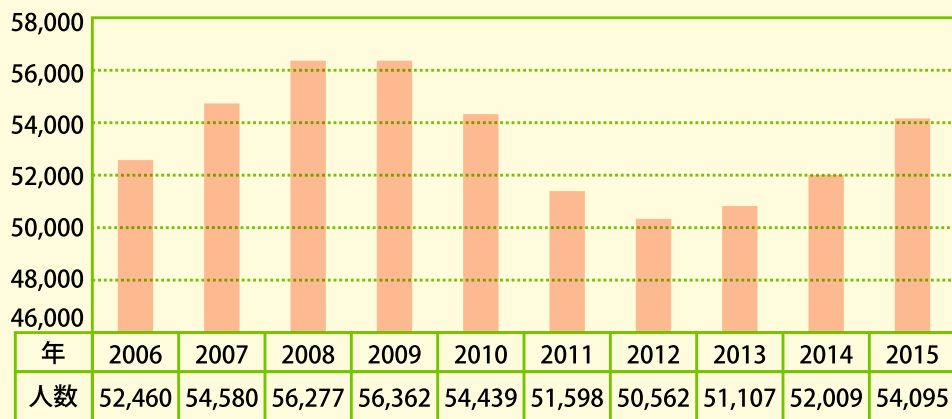
ひとやものが活発に交流する
グローバルないばらきに向けて

いばらき グローバル化 推進計画



いばらきの グローバル化の状況

● 県内の在留外国人数



(法務省「在留外国人統計」：確定値)

●外国人技能実習生が約1万人在住(2014年時点)

●外国人観光客は増加傾向

(外国人延べ宿泊者数 2011年:88千人→2014年:94千人)

●パスポート交付件数は年々減少(2010年度:89千件→2014年度:64千件)

●外資系企業の県内進出は1985年以降21件

●県内港湾を通じた貿易は2013年に過去最高(輸入2.1兆円 輸出1兆円)

2014年は過去2番目(輸入1.9兆円 輸出0.9兆円)

●茨城空港発着便の搭乗実績は国内線・国際線とも増加傾向

(国内線 2010年度:10万人→2014年度:42万人 国際線 2010年度:11万人

→2014年度:12万人)



「いばらきグローバル化推進計画」の特徴

「国際化推進計画」から「グローバル化推進計画」に名称を変更しました

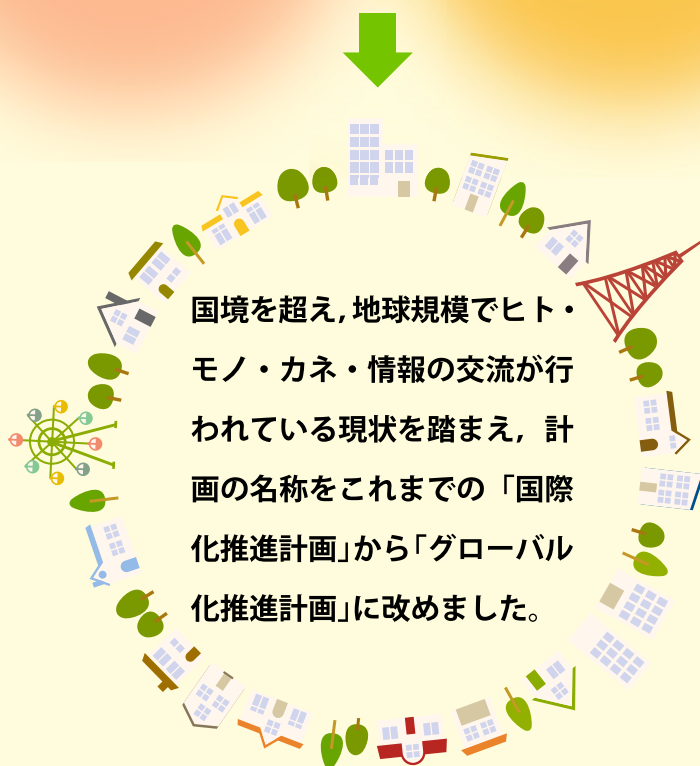
「国際化」と「グローバル化」の違いって？

国際化
Internationalization

- ・ 国家 (nation) の間 (inter-) の関係が語源
- ・ 国の「内」と「外」を明確に分けるイメージ

グローバル化
Globalization

- ・ 地球 (globe) が語源
- ・ 国境や国籍, 民族を超えた関係をイメージ



「長期ビジョン」を初めて示しました

20年後に目指すべき「グローバル化したいばらき」は, 以下のとおりです。

- ・ 国籍や民族, 言語にとらわれず, 互いを尊重し合い, 認め合いながら, 安心して暮らせること。
- ・ グローバルな視野を持って地域の課題を解決したり, グローバルな活動を通じていばらきの魅力を世界中に発信したりすることのできる人材が多数いること。
- ・ 様々な文化, 習慣, 考え方を有する人々を魅了する環境があること。

「長期ビジョン」と「いばらきグローバル化推進計画」との関係について

「長期ビジョン」の達成に向け, 今後5年間で取り組むべき事項を具体的に表したものが「いばらきグローバル化推進計画」です。

「いばらきグローバル化推進計画」の概要

計画の基本方針

ひとやものが活発に交流するグローバルないばらき

「お互いを理解し合い尊重し合う 多様性が作り出す新しい茨城」の実現

基本方針1 グローバル化にふさわしい人づくり



基本方針2 グローバル化にふさわしい場づくり



基本方針3 人や企業のグローバルな交流の推進



計画期間：2016（平成28）年度～2020（平成32）年度（5年間）



具体的な取組

基本方針1 グローバル化にふさわしい人づくり

1 身近な文化や環境等への理解促進

自分たちが暮らす国や郷土の文化を理解し愛する心の醸成, 自分たちのルーツにつながる文化への誇りの醸成, 国籍や母語にかかわらず地域に愛着を持ち, 安心して暮らせる環境の整備 等

2 課題を探究する力の養成や語学教育

スーパーグローバルハイスクール指定及び国際バカロレア認定の促進, 英語活用能力の向上, 教員の英語指導力向上 等

3 多様な文化や考え方に対する理解促進

外国人講師等の派遣, 女性・若者リーダーの海外派遣, 高校生の海外留学に対する支援, 高校生が海外に渡航する機会の創出 等

4 交流の場の創出

通訳・ホームステイボランティアの登録・紹介, オリンピック・パラリンピック大会の競技会場やキャンプ誘致, 外国人アーティストとの交流促進, 外国人技能実習生等との交流の機会の創出, スポーツ交流に対する支援 等

5 国際協力への参加促進

青年海外協力隊等への参加促進, 青年海外協力隊 OB・OG の派遣 等

6 外国籍や日本語指導が必要な児童生徒への対応

児童生徒教育関係者が一堂に会する場の設置, 進路指導の充実 等





基本方針 2 グローバル化にふさわしい場づくり

1 安心して生活・活動できる環境の整備

多言語による相談体制の充実, 多言語による各種情報提供, 外国出身者の経験・ネットワークの活用, やさしい日本語による対応の普及, 外国語での受診・診療をスムーズにするための「メディカルハンドブック」の作成・配布, 誰もが安心して受診できる医療環境の整備, 英語による教育環境の充実 等

2 地域の魅力向上と資源の有効活用

グローバルに通用する地域資源や本県の強みを掘り起こし, 磨きをかける取組の推進

2 に係る地域別の取組

県北・県央地区

豊かな自然や歴史・伝統, 高度な産業集積, J-PARC等の科学技術の集積, ひたち海浜公園, 弘道館・偕楽園等の施設の活用促進

県南地区

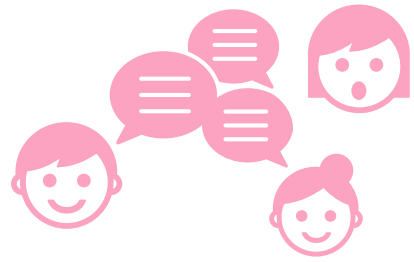
つくばの科学技術や高度人材の集積についての情報発信, G7茨城・つくば科学技術大臣会合の開催や英語による教育・医療機関の充実等による魅力向上

鹿行地区

カシマサッカースタジアムやメロン等の農産物を活用した魅力向上と新たな資源の掘り起し

県西地区

結城紬といった伝統工芸やなしなどの農産物等を生かした魅力向上と新たな資源の掘り起し



基本方針 3 人や企業のグローバルな交流の推進

1 海外とのネットワークの拡大

茨城・ベトナム交流推進官民協議会によるベトナムとの交流推進, 上海事務所の活用促進, 在南米県人会等とのネットワーク強化, 留学生・研修生のネットワーク強化, 県内に在住する外国出身者の経験やネットワークの活用, 友好提携州との経済交流の推進 等

2 様々な国や地域からの観光客の誘致

多言語による観光情報の提供, Wi-Fi 環境の整備促進, おもてなし講座の開催, LCC 路線の充実, 海外の旅行会社や国内のランドオペレーター等の開拓, 農山漁村の地域資源を活かした観光客の受入 等

3 農林水産物等の輸出支援

商談会参加や販売促進活動等への支援, バイヤーの招へい, ニーズに応じた輸出商品づくり, 低コストな船便輸送を実現するための農産物の鮮度保持実証試験の実施, 常陸牛海外販売推奨店の増加 等

4 企業の海外展開支援

「いばらき海外進出サポート協議会」の運営, ジェトロ茨城貿易情報センター等との連携によるセミナー等の実施, 輸出拡大支援員の配置による販売先の確保, 上海事務所やシンガポール駐在職員によるサポート 等

5 対日投資の県内誘致

本県の投資環境等の情報発信, MICE 誘致等

6 様々な国や地域からの人材誘致の促進

実習生等の人材誘致に向けた環境の充実, 技能実習制度等の趣旨の周知徹底, インターンシップや企業説明会への海外からの留学生の参加促進, 高度人材誘致のための環境整備 等

計画の進捗状況を図るための指標

指標(単 位)	現状値 (2014年度)	目標値 (2020年度)
茨城に愛着を持っている県民の割合 (%)	83.5 (H27)	89.3
英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合(中3) (%)	38.6	60.0
国際交流を実施している高校の割合 (%)	—	100.0
ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣数 (件)	1,371	1,900
多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数 (人)	110	700
茨城空港の年間旅客者数 (千人)	538	700
茨城港・鹿島港の外国貿易の取扱量 (千トン)	50,329	69,005
輸出を行っている中小企業数 (社)	218	330
海外に進出している中小企業数 (社)	126	190
本県を訪れる外国人旅行者数 (千人)	187	720
本県青果物・水産物の輸出金額 (億円)	24.9 (H25)	50.5
常陸牛海外販売推奨店数 (店)	2	20
在日外資系企業等を対象としたセミナーへの参加企業数 (社)	—	80
県の支援により進出した外資系企業等数	—	8
つくば地区における国際会議の開催件数 (件)	66	80



茨城県国際課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978-6
 TEL.029-301-2857 FAX.029-301-1375
 茨城県ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/>

いばらき
 グローバル化
 推進計画

